

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160
 大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802
 名古屋支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-1-22 KT葵ビル3F TEL.052-856-0701・FAX.052-856-0699
 札幌支店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
 仙台支店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
 さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
 横浜支店 〒241-0031 横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422
 静岡支店 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
 広島支店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
 四国支店 〒791-1126 松山市大橋町202 TEL.089-963-5850・FAX.089-963-5877
 福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229

大阪工場・東京工場・中央研究所・関東物流センター・リサイクルセンター



住宅用 強化液(中性)消火器(蓄圧式) WET CHEMICAL STREAM FIRE EXTINGUISHER (NEUTRAL SOLUTION)

国家検定合格品

取扱説明書

当社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

- 取扱説明書は必ず読んでください。
- いつでも読めるところに保管してください。

危険防止について

消火器はすべて国家検定に合格していますが、
設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、
誤った取扱いなどによって事故が発生する場合
があります。

この『取扱説明書』の「危険」「警告」「注意」の
事項は必ず守り、身近な防災器具として、いつで
も使用できる状態にしておいてください。

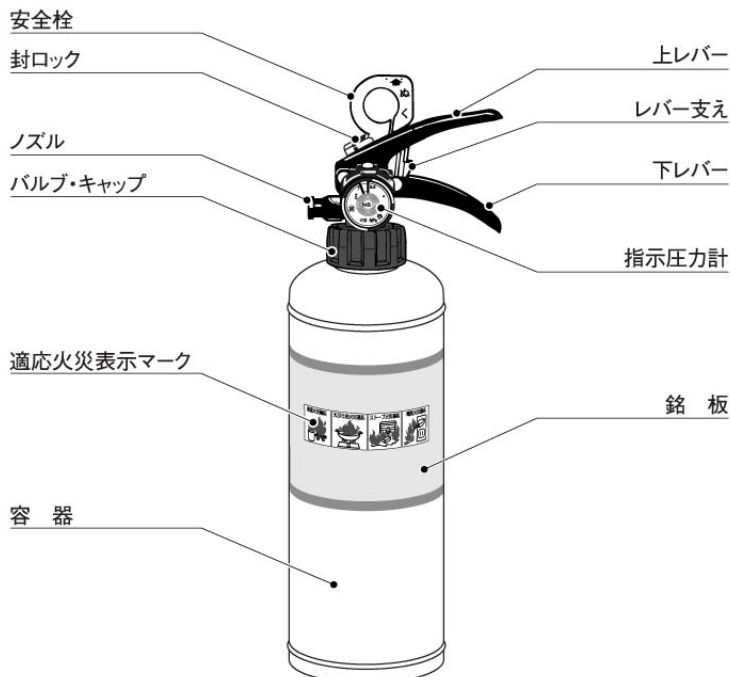
●この商品についてのお問い合わせは、ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ…

お客様相談窓口

0570-080-100 受付時間:平日9:00～17:00

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更を行うことがありますので、ご了承ください。 1402-1

1 部位名称



2 操作方法



操作上の注意

- レバーを握ったまま安全栓を抜かないでください。固くて抜けにくくなります。
- 3mほど離れ、火の根元に向けて放射してください。
- 一度消えても再発火することがありますので、最後まで消火薬剤を放射してください。

レバーを戻すと放射が止まるストップ機構付きですが、止めたまま
で放置すると圧力が漏れ使用不能となるため、最後まで放射して
ください。

- 天ぷら油火災の消火の際、鍋に近づきすぎると油が飛び散ることがありますので、出来るかぎり距離をおいて放射してください。
- ガスが関連した火災では、消火後すみやかに、必ずガスの元栓を閉めてください。

適応火災



木材・紙・繊維等
が燃える火災。
大豆油等が燃え
る火災。
石油ストーブの
灯油の引火によ
って燃える火災。
電気設備ショート
等による火災。

3 消火薬剤について

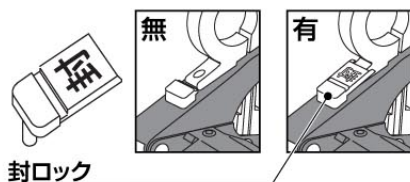
- 消火薬剤に著しい毒性はありません。しかし大量に人体にかかると危険な場合がありますので、ご注意ください。
- 消火薬剤が誤って目に入ったときは、絶対にこすらずすみやかに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医の診察を受けてください。
- 消火薬剤のかかった食物は食べないでください。
- 強化液（中性）消火器を使用した場合は、飛散した消火薬剤をそのまま放置しておく、金属類を腐食させることがあります。すみやかに水で洗い流して、ぞうきんなどで清掃してください。また、電気器具は電気店などの専門業者にご相談ください。
- この消火器は再充てんできません。使用後は、新しい物と交換してください。



■環境に配慮した、非PFOS処方
国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物（PFOS類）を含有しておりません。

5 日頃の管理

- 試し放射はしないでください。放射後そのまま設置されますと火災の際に使用できません。
- この消火器は「住宅専用の消火器」です。法的な点検の必要はありませんが、「イザ!」というとき確実に使用するために、定期的に外観確認（右記チェックポイントを参照）を行い、ゴミやホコリを取り除いてください。
- 安全栓がレバーを支えていた状態で確実にセットされ封ロックがほどこされているかを確認してください。



- 封ロックのとれているものは専門の業者による点検が必要です。
- 消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）や洗剤は使用しないでください。
- 消火器の部品などは、絶対にゆるめたりしないでください。

4 設置について

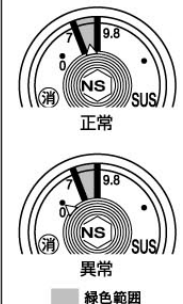
- 上から物が落ちて損傷を受けやすい場所は避けてください。地震や振動などで消火器が転倒や落下しないような場所に設置してください。
- ガスコンロ、ストーブなど発熱器具の近くは避けてください。
- 通行や避難に支障がない場所、また使用する際にすばやく簡単に持ち出せる場所に設置してください。
- 湿気が多い場所、水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所、及び風雨にさらされる屋外には設置しないでください。
- 消火器に表示されている使用温度範囲内の場所に設置してください。（使用温度範囲外で使用すると、十分な消火効力を得られない場合があります。）
- 幼児の手の届かない場所に設置してください。

■チェックポイント

封ロック
封ロックがついているか確認してください。
※封ロックがはずれていたら使用済みの恐れがあります。

ノズル
亀裂・ゆるみ、また、異物やホコリでふさがれていないか確認してください。
※異常があると、正常に放射されません。

指示圧力計（ゲージ）
指針が緑色範囲内〔7.0～9.8（ $\times 10^{-1}$ MPa）〕にあるか確認してください。
※圧力が低下していると十分な能力が発揮されず、放射されない場合があります。



安全栓・レバー支え
レバー支えを立てた状態でセットされているか確認してください。
※安全栓が外れていたら使用済みの恐れがあります。

レバー
変形・腐食・塗装のはがれなどがないか確認してください。
※異常があると、使用できない恐れがあります。

バルブ・キャップ
変形・腐食・破損・ゆるみなどがないか確認してください。
※異常があると、圧力低下やバルブ・キャップの飛散事故の危険があります。

使用期限
使用期限を過ぎたものは、使用しないでください。
※銘板で確認してください。

本体容器
サビやキズ、変形がないか確認してください。
※異常があると、正常に放射されません。

6 使用上のご注意

消火器は圧力容器です

⚠ 危険

- 破裂のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
- 分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合わせください。

⚠ 警告

- 破裂の原因や人身事故のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 腐食しやすい場所、湿気が多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。
- 濡れた床や地面に直接置かないでください。
- 使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。
- この住宅用消火器の使用期限をおまもりください。
- 人に向けて消火薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。
- 使用時には火元から3m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。
- 避難経路を確保しながら消火してください。

⚠ 注意

- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
- 試し放射はしないでください。使用できなくなります。
- 一度操作したものは、新品と交換してください。
- 適応火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。
- 封ロックがはずれているものは、安全栓が抜かれています。新品と交換してください。